

き ず な

す けん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

****ピアノミニコンサート** 7月12日(金)**

中野要一郎様からのグランドピアノの寄付に感謝して!



渡邊校長先生から、「ピアノを寄贈していただいた中野さんが来校されるので、御礼のミニコンサートをしますので、聞きに来られませんか?」という電話をいただき、「はて! ?どんなコンサートだろう?」と思いつつ、翌日、学校へと向かいました。

中野さんは、「高校卒業後、進学のために上京しましたが、私の土台を作ってくれたのはここ、大草野で

す。その大草野に何か御礼がしたかった。」と挨拶をされました。寄付申込書には「母校である大草野小学校にグランドピアノを贈りたい」と書いてあったそうです。中野さんは、五代の出身で、現在、東京在住で中野エンジニアリング株式会社の代表取締役をされています。

ミニコンサートで演奏をしてくれた6人の児童の名前を演奏順に紹介します。香田楓(かえで)さん、中野絢葉(あやは)さん、村島蘭来(らら)さん(以上5年生)、中野心陽(みはる)さん、西田寧々(ねね)さん、松尾帆夏(ほのか)さん(以上6年生)、そして5年生の合奏が披露されました。教育委員会から、

杉崎教育長と榮岩学校教育課長も駆けつけられて、教育長が中野さんへの御礼と子ども達の演奏の感想を述べられました。

子ども達の演奏を聴きながら、「私の小学生のころにグランドピアノを弾けた子はどれほどいたろうなあ? 親父の会社の社長の孫はピアノを持っていた

なあ。」と、遠い過去へとタイムトリップしていました。

子ども達が、安全で安心して暮らせる今の平和な日本を、我々おとなは大切に、しっかり守り続けなければいけない、と思いながら、気持ちの安らぐ時間を過ごしました。



リフレッシュ農園（かかし会場）を事前調査しました！（7月25日：木）

リフレッシュ農園を所管する農業政策課から2人、国スポ所管課から1人、それとコミュニティの田中会長と事務局の5人で、現地で立会をしました。県道佐世保嬉野線の法面下に沿ってと交差する市道に一部沿う設置になりそうです。各部会に割り当てる箇所は、また、抽選でもして決めていきたいと思ひます。中央部には、小学校と和光幼稚園の制作したかかしを置くといひかもしれませぬね。コミュニティの設立当初からかかし祭りは大草野コミュニティの目玉事業として継続してきましたが、最近ひ、かかしの使ひ回し的な感ひも出てきていましてので、国スポという機会に、そして普段とは違ひ場所ひ、かかし祭りの事業が、それこそ心機一転、リフレッシュできたらいいなと思ひます。かかしの設置前には草刈も必要になると思ひますが、防災広場草刈隊や役員などで対応したいと思ひます。皆さんよろしくお願ひします。



着色部分:かかしの設置予定箇所

この日、熱中症警戒アラートが出ていひる中、防災広場草刈隊員は、草刈り機を肩にかけ、この2ヶ月くらいでみるみる大きく成長した雑草たちに毅然と立ち向かっていきました。今回も、ホテル人工池の周辺を皮切りに、防災広場、そして最後に学校グラウンドへと転戦しました。

防災広場 今年度3回目の除草作業(7月27日：土) 学校グラウンドも除草！ みんなでやれば、ダイジョウブダー！

学校グラウンドには、南上の森さんが乗用草刈り機で颯爽と登場し、短時間のうちに敵陣を打ち負かし、そして、颯爽と去っていきました。後から聞いたら、朝7時から地元の作業もあつて、引き続き5時間以上続けたため、少し頭痛がしたとのことでした。みなさん、暑い日は、水分を喉の乾きがおさまるまで十分摂取すること、作業後は、首筋、脇下などリンパがあるところをしっかりと冷やしましょう！ 私は、プールの温度位のお風呂にしばらくゆっくり入って、体温を下げることをしていひます。ランニングをしていひた頃からやっていひ、ほてった身体が落ち着いたら、少しずつお湯を足して体温くらいになったら風呂から出る、という方法です。冷たい水のままで終わってしまうと、今度はまたあつたかくなりますので、ご注意を！ そんなこんなで、今年度3回目の草刈も無事に終わりました。



益世会による塩田川右岸(下流に向かって右側)の草木伐採作業のお知らせです！
8月25日(日)6時15分から、式南橋から千石堰(南下)までの区間の除草作業が行われます。
梅雨明け宣言の日の陽射しの強烈なこと！ 皆さん、日差しが強い日が続いていひます！
当日、作業に従事する皆さん、怪我が無いように、熱中症にも十分注意して作業をしましょ！

〈編集後記〉

「バリ五輪開幕」
いよいよオリンピックが開幕しました。

スポーツ好きの私なので、当然オリンピック大好き、だと思われようが、年齢を重ねるにつれて今のオリンピックの在り方に何か不自然な力を感じようになつて、心底から開催を喜んでいひない自分に気付きます。

単純なことでは、こんなに一度に多くの競技種目が開催されては、落ち着いてどれを見たらいいのかわからない、というのも大きな理由の一つです。70歳を超えると、そんなに一度に大量の情報を整理できないというところでしょうか。競技種目ごとの世界選手権でよくないかと思つてしまひます。

それと、7月28日の佐賀新聞の有明抄で(桑)さんが書いていた後半部分、「あつ、同じ気持ちだ！」と思ひながら読みました。世の中で起きる色々なことを「金儲け思考」でしか考えられない人がいることがちよつと残念です。

でも、それはそれとして、我が大草野からもオリンピックがいます。しっかりと応援したいと思ひます。女子7人制ラグビーに出場する堤ほのかさん、誰かのためにではなくて、自分自身が納得すること、喜ぶことが、アスリートは一番大切で、頑張つて！